

国士舘レーシング

Kokushikan Racing

<http://k-racing.eg.kokushikan.ac.jp/>

目標は達成できなかったがチーム全員で掴んだ車検合格



今回の総合結果・部門賞

●総合71位

Profile チーム紹介・今までの活動

Kokushikan Racingは全日本学生フォーミュラ大会に第1回から参加しています。今年は目標を完走とし、昨年の車検不合格の悔しさをバネに限られた製作環境の中で多くの方のご協力のもと、チーム全員が寒い日も暑い日も関係なく目標達成に向けてこの活動に打ち込んできました。

Team-member チームメンバー

孫 培竜 (CP)

児玉 知明 (FA)
山下 俊樹、野島 直博、柳 辰、神田 智也、
早瀬 匠吾、松井 勝、伊藤 宗孝、木村 勇、
森岡 裕次郎、鈴木 暉隆、渡邊 顕、白倉 優樹、
和田 将吾、二木 達也、安川 大樹、栗山 晴貴、
福士 雄太、松井 千尋、丁 宇、高橋 佑太

Presentation

プレゼンテーション

今年のKU-014の活動は昨年大会の悔しさを今年の大会にぶつけると言う意気込みで、チームの目標を大会での完走とするところから始まりました。昨年の大会は車検に合格することができず走行することもできないという非常に悔しい結果でした。

今年は昨年の反省を生かすために多くの部品を作り直しました。特にパワートレインではエンジンとECUを新しくしました。それに伴い弊チームの伝統であったターボチャージャーの搭載をやめ吸気と冷却系を一から設計製作しました。また車両の重心を下げるためにオイルパンを加工しました。サスペンションにおいてはステアリングシステムを見直し、ダンパーの取り付け位置も確実に車検を通過できるよう設計しました。またフレームにおいては余裕を持った設計とし、昨年は時間がないことから中途半端な製作結果となってしまったカウルもしっかりと作り直しました。

昨年は参加をキャンセルしてしまった8月の富士と茂木の試走会にも参加し、車検対応に生かすこともできました。これらの努力と車両の改良によって昨年よりも完成度の高い車両を製作することができました。しかし初めて作る部品が多かったことから失敗も多く、スケジュール管理の難しさから車両完成が大会直前となってしまいました。これを反省点として次期車両を製作していきたいと思えます。

Participation report

参戦レポート

残念ながら今大会では目標である完走どころか、昨年同様に動的審査に出場することができませんでした。応援して下さった方々のご期待を裏切る結果となり誠に申し訳ございません。しかし大会4日目にしてすべての車検に合格することができました。最後まで諦めずに各メンバーが行動したことで、昨年の自分たちを越えることができました。

これが今大会で得た最大の成果です。動的審査に出場できる時間までに車検を通過できなかった原因はステアリングのラックアンドピニオン部分の構造の把握不足、ファイアーウォールの不備、ハーネスマウントのアイボルトの固定不足などがあり、それらの対応に追われたことです。

しかし静的審査では昨年の49.94点から5.7点、得点を伸ばし55.64点を獲得することができました。特にコストレポートを大きく改善することができました。結果は昨年の一6.64点から12.91点となり、前年までマイナスだった得点をプラスにすることができました。デザイン審査でも昨年の反省から車両のアピールポイントをできる限り審査員の方に伝え、21.00点から33.00点に上げることができました。しかしプレゼンテーション審査は準備不足から昨年の31.58点から9.74点に大きく点数を落としてしまいました。車両製作に追われ静的審査に十分対応することができませんでした。チーム全員の努力によって昨年よりも高い点数を獲得できました。

これらの成果を得られたのも各スポンサー企業様、OBの方、そして学校関係者の方々の温かなご支援とご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

Sponsors スポンサーリスト

本田技研工業、アンシス、リバースチール(鋼管部)、柳下技研、カルソニックカンセイ、ブリヂストン、VSN、日立製作所、オートモティブシステムグループ、東洋エレメント工業、エムズファクトリー、レーシングサービスワタナベ、ターボテクノサービス、エムエスシーソフトウェア、ソリッドワークス・ジャパン、日発精密工業、ティアド、ディトナGOODRIDGE(JAPAN)、ケーヒン、AVO/MoTeC Japan、シティーカート、ダブルエム、サード、和光ケミカル、ミスミ、水戸工業、竹内化成、やまと興業、ミノルインターナショナル、アールケー・エキセル、中央発條、アルテアエンジニアリング、タカタ、芝ライニング商会、エフ・シー・シー、サイバネットシステム、バーチャルメカニクス、NTN

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/60.html>